

第2次 新横田基地公害訴訟 原告団ニュース

発行者
第2次新横田基地公害訴訟原告団
 〒197-0003 東京都福生市熊川1655-3
 白鳥第2ビル302号
 TEL/FAX. 042-552-4451
 Email : syokotas@vesta.ocn.ne.jp
 http://www.yokota-kougai.com

第二回目の法廷で第二陣原告一七三名を第一陣と併合します。また、前回の市村弘裁判長が異動となり、第二回からは太田武聖(オオタタケマサ)裁判長に交代となったために弁論更新の手続きを行います。原告側の被害を陳述するのは酒匂宏さん(日野市在住)と大坪たづ子さん(瑞穂町在住)の2名です。そし

て弁護団陳述は①訴状全体と本訴訟の意義を中杉喜代司弁護士が陳述。②最近の横田基地の運用に関わる危険なパラシユート降下訓練、物資投下訓練、飛行訓練の広域化、オスプレイ配備計画問題などを取り上げて小池孝範弁護士が陳述。③国側の陳述を中村晋輔弁護士が行います。

10月30日(水) 立川地裁101号法廷

第二回裁判を傍聴しよう

10:20~10:35 事前集会

裁判所正門前歩道にて

11:00~11:40 法廷

12:00~12:40 報告集会

東京三弁護士会多摩支部ホールにて

昭島支部と、八王子・日野支部は各地域から裁判所までの貸切バスが出ます。バス乗車時刻は各支部だよりで確認してください。



弁護団長に就任して ご挨拶

弁護団団長 弁護士 関島保雄

横田基地公害訴訟の弁護団長は、旧訴訟が森川金寿先生、第一次新横田基地公害訴訟は榎本信行先生でした。いずれも法曹界では高名で米国や国を被告とする訴訟に相応しい弁護団長でした。しかし、私は最初の横田基地公害訴訟から今日まで継続して弁護団に参加してきた最古参弁護士というだけで、団長をお引き受けした次第です。弁護士になった一九七五年から横田基地公害訴訟立ち上げに参加し、弁護団活動を通じて、横田基地公害訴訟は、私がその後の圏央道高尾山天狗裁判等環境派弁護士と言われる弁護士人生の中心を占めた事件です。その横田基地公害訴訟に恩返しする為にも、弁護団長としては役者不足ですが、原告団及び弁護団が強く結束して、訴訟に勝利する為に全力で頑張る所存ですのでよろしくお願ひします。

第二次新横田基地公害訴訟
提起の意義

基地周辺の住民は、日本政府に対し、米軍機・自衛隊機の飛行の差止と損害賠償を求めて、一九七五年以降小松基地、横田基地、厚木基地、嘉手納基地、普天間基地と次々と訴訟を提起しました。しかし最高裁判所は違法な騒音に対する国の損害賠償責任は認めましたが、米軍に対する飛行差止請求に対しては米軍には日本国の規制権限が及ばないとして請求を棄却した結果、米軍機の違法な飛行は止まらず、騒音被害はその後も続いています。

(次ページへ続く)

(前ページより)

米軍基地周辺住民は、従前以上に原告を大量に集めて大型の訴訟を提起し国と米軍の違法行為を追及してきています。現在全国で約三万七〇〇〇人の米軍基地周辺住民が国を被告にして訴訟を続けています。この訴訟の戦列に第二次新横田基地公害訴訟も原告一〇七八名の大型訴訟として参加することが出来全国の基地訴訟の仲間になんとも励ましを与えることになりました。

日米安保条約及び地位協定における対米不平等条約と基地公害訴訟の役割

最近日本と米国の間で在日米軍の扱いについて日本国民に知らされていない密約があることが暴露されました。密約文書では砂川事件に

関して最高裁長官であった田中耕太郎が司法の独立を放棄してアメリカ大使と安保条約と自衛隊を違憲とした一審伊達判決を覆すための謀議をしていることも明らかにされました。

過去の米軍基地の騒音訴訟で日本国政府が基地周辺原告に支払った賠償金は約一四〇億円を超えています。日米地位協定一八条では米軍の違法行為で日本政府が支払った賠償金の七五パーセントを米国が負担することになっていますが、未だに米国は日本政府に賠償金分担金を支払おうとしていません。米国は日米地位協定さえ守っていないのです。不平等な日米安保条約と日米地位協定の実態を国民に明らかにし、日本の自立独立を実現するためにも、米軍基地に対する騒音訴訟の果たす役割は大きいのです。

こんにちは、被害班です。よろしくお願ひします。

輿那嶺 慧理 弁護士



弁護団の活動を紹介

被害班のメンバー

は、ベテランの

関島弁護士、

四位弁護士、中

杉弁護士、山本

英司弁護士、吉

田榮二弁護士、

新横田基地訴訟

の控訴審あたり

から弁護団に入

った小林善亮弁護

士、私輿那嶺、

そして、新人の

東弁護士の合計

8人です。ベテ

ランの経験・知識と若い

力で、原告のみなさんの

被害を代弁すべく、がんば

っています。

被害班は、原告のみな

さんが、横田基地特に航空

機騒音から受けている被

害、例えば、会話やテレ

ビ・音楽の視聴が妨害さ

れる、睡眠妨害、耳鳴り・難聴、騒音墜落の恐怖・不安などからくる不快感などを、国や裁判所に分かってもらうために、みなさんのお話を伺ってまとめたり、学者などの書いたさまざまな文献、他の航空機騒音訴訟の調査の記録などを探したりしています。被害の調査活動なども検討中です。

みなさんが日頃感じておられる被害そのものを主張・立証するという意味で、みなさんに一番近い部分の訴訟活動を行っているといえます。ですから、みなさんの被害実感やせて自宅できついている時間や寝ている間は静かに暮らしたいという思いを、きちんと伝えたいと思っています。今、被害班では、騒音によって人間の生活にとつてとても大切な休息の時間が害されることの重大性や、騒音が生活被害だけでなく健康被害も生じさせること、戦闘機の金属音や輸送機の重低音などで感じる不快感(「アノイアンス」と言います)

や騒音による睡眠妨害は、それ自体健康への被害であることなどをいかに立証するか検討しています。また、原告のみなさんの騒音等による被害の実態や静かに暮らしたいという思いを伝えるための陳述書の作成を準備中です。

横田基地もいらぬ市民交流集いがひらかれました

実際にみなさんと面談して陳述書を作成するのは、来年春頃から夏にかけてになると思います。年明け(2014年)に、お手元にお知らせと下書用の陳述書が届くと思います。ご協力よろしくお願ひします。

一〇月十二日(土)福生市民会館で表題の集いが、一〇〇〇人近い市民の参加で行われました。天気も良く、楽しそうな集いなので愛用の自転車を出かけてきました。主な内容は「東京のオキナワ・米軍横田基地」：日米地位協定と題した講演で、沖縄国際大学大学院教授の前泊博盛さんが講師を務めました。大変わかりやすく、ユーモアにあふれたお話で、会場はたびたび大きな笑いに包まれました。ドイツでは米軍基地が撤去される際、廃棄物などは米軍がすべて除去し、原状が回復され

た状態で基地が返還されています。しかし日本では、米軍にその責任はなく、アスベストが大量に使われた建物が、そのまま返還される事件が沖縄で起きています。「日米地位協定は改定ではなく無効することが大切。日本は法治国家だから日本の法律を米軍に適用すればよいのです。」とのお話はとても新鮮でした。福生市民会館はちゃんとした食堂があって、ラーメン(四五〇円)が美味しかったです。機会があればご賞味あれ：瑞穂支部・清水幸一

8月の飛行回数 (前年比)

	測定点	2012年8月 飛行回数	2013年8月 飛行回数	増回数
福生市	市役所屋上	161	286	125
福生市	熊川誘導灯付近	589	989	400
瑞穂町	箱根ヶ崎駅付近	766	1030	264
瑞穂町	役場屋上	98	158	60
八王子	久保山町会会館	358	444	86

福生市、瑞穂町は自治体の独自調査 (市ホームページより)
八王子市久保山町会会館は原告団の測定調査



増えている低空飛行と旋回訓練

旋回訓練の被害ひろがる

「今年に入ってから飛行機の騒音がひどくなっている」「低空での旋回飛行訓練が多くなっている」

などの声が原告団に寄せられています。福生市の『8月の横田基地飛行回数』調査データ(福生市熊川誘導灯付近)でも、九八九回と前年同月比で四〇〇回も飛行回数が増えていることが記録されています。また基地北側の瑞穂町測定点(箱根ヶ崎駅付近)でも一〇三〇回と前年同月比で二六四回飛行回数が増えています。

「C130パイロットの技量維持のために行われている様々な訓練を、規定の回数行っているから」と言われていますが、そうであるならば激しさを増す飛行騒音が減ることはないことになります。2〜3年前までは、旋回訓練はほとんど基地西側の空域で行われていました。しかし、最近では基地東側での旋回訓練が多くなっています。横田基地東側には立川基地のヘリコプターのための空域が設定されています。このため東側ではかなり低空での訓練が行われています。「目測だが地上から一〇〇Mもないだろう」「パイロットの姿がはっきり見えるほどだ」などの声が、基地東側の武蔵村山市民からも寄せられています。

旋回飛行訓練域の被害認定を

これまで裁判所は「騒音被害区域は、滑走路延長上のコンター内だけ」として、旋回飛行訓練地域の騒音被害は認めてきませんでした。しかし、前出の福生市の『福生市役所屋上』(コンター外)で測定されたデータでは、八月だけで二八六回(前年同月比一二五回増)の飛行回数が記録されています。また瑞穂町役場屋上七五Wの測定点でも、八月に一五八回が記録されています(前年同月比六〇回増)。原告団には、これまでに損害賠償が認められてこなかった七〇Wコンターの住民からも、訴えを起こした原告がいます。周辺住民からの話や、自治体のデータからも、原告団の主張の

正しさが証明されているのではないのでしょうか。

「離着陸機の場合飛行機が通過すれば騒音は遠のく。しかし旋回飛行訓練は、繰り返し繰り返し騒音にさらされる。これも被害として認められるべきだ！」という声が多くなっています。裁判所に、七〇Wコンターの被害や、旋回飛行訓練コース地域の被害実態を伝えることが重要になっています。

群馬県に広がる騒音被害

群馬県は県のホームページで、「群馬県では、米軍機による飛行訓練が断続的に行われており、騒音による苦情が寄せられています。県民の安全と安心を守る立場の県として、騒音の実態をより正確に把握するため、客観的な数値データの測定をしています。」と述べ、前橋市大手町昭和庁舎屋上と、渋川市金井の渋川合同庁舎屋上に、騒音測定器を設置して測定を行っていることを報じています。この米軍機は「四発の濃いグレーの大型プロペラ機だ」「尾翼にYJの文字があった」などの住民の話から、横田基地のC130と思われるようです。

原告団活動日誌

CV22オスプレイ 横田基地配備反対

撤回求める意見書 八王子市議会でも可決!

人口56万人の八王子市の中にあって、横田基地の航空機騒音の被害地域は八王子北部の一地域の事だけと捉えられていましたが、昨今の低空飛行訓練は関東平野全域に広がり、八王子市も航空機騒音地域の例外ではなく、来々としています。みなみ野、裏高尾、元八王子町など「えっ!こんな所にも横田の飛行機が飛ぶの!」と声が出ているほど被害は八王子全域にわたっています。

オスプレイの横田基地への配備計画問題が浮上し、八王子がオスプレイの訓練

場になつては大変!と8月15日に八王子市長宛に要請文を提出し、市役所総務課と懇談。8月20日には市議会各会派の議員と懇談。そして9月18日に「意見書」可決となりました。意見書では「八王子市においては多くの市民が横田基地から飛来する航空機騒音に長年悩まされ続けており、今回の横田基地へのオスプレイ配備検討の報道は、八王子市民の生命と財産を守る立場から看過できない」と撤回を強く求めています。

- 9/15 全国基地爆音訴訟連絡会議 事務局長会議出席
- 9/18 原告団ニュース第3号発行・発送作業
- 9/19 原告団ニュース第4号編集会議
- 9/20 第6回原告団幹事会議
- 9/26 昭島支部会議
- 9/27 弁護団会議
- 9/27 八王子・日野支部事務局会議
- 9/27 八王子・日野支部世話人会
- 10/2 オスプレイ対策会議 (第9次と合同)
- 10/4 ぜんそく医療費助成制度存続を求める都庁前都民アピール行動参加
- 10/7 定例事務局会議
- 10/15 八王子市議会各会派へ挨拶
- 10/17 オスプレイ学習会について記者会見



三多摩地域の 意見書可決ひろがる

三多摩地域で意見書を可決した議会は、八王子市議会、青梅市議会、羽村市議会、武蔵村山市議会、瑞穂町議会、小金井市議会、福生市議会、あきる野市議会、国立市議会、清瀬市議会、立川市議会、東村山市議会、昭島市議会の12市1町にのびりました。一方否決されたのは、西東京市、日野市、町田市の3市議会でした。日野市の不採択の主な理由は、国防は国の専管事項であり、地方議会が口を出すべきことではないということだったようです。地方自治体の使命を放棄したものとわざわざるを得ません。

東京都市長会は10月9日に都知事宛に「垂直離発着輸送機CV22オスプレイの横田基地配備検討に関する緊急要請」を提出しました。要請文では「米空軍によるCV22のわが国への配備計画すら明らかになっていない中で、今の報道は、まさに寝耳に水の話であり、誠に遺憾」とし「日本政府に対し、適宜、適切な情報提供を行うよう、働きかけることを要請」とし、計画撤回を強く求める内容ではありません。

コラム@こらむ

★猪瀬都知事はオリンピックを口実に横田基地の軍民共用化を再び言い出しました。知事は九月二〇日の会見で「騒音問題はどこでも発生する。そんなことより、横田の米軍の発着回数を考えてもらいなさいよ。ほとんど使っていないでしょ。」と発言しています。(東京新聞二一日付) ★言われたとおり考えると、基地北側の瑞穂町測定点では、今年の八月・平日・朝六時・夜十時の間、一日四七回、二〇分に一回の割合で飛行回数を数えています。★これを「ほとんど使っていない」と考え、この知事のオツムの使い方は自由です。でもねえ、私たちはどう考えても「ウルサイ!」としか考えられないのです。そしてその「考え」は最高裁判所の支持と理解も得てきたのです。★私たちが、ほとんど一日中、ほぼ一年中、違法な騒音にさらされ続けてきました。だから「考え」することもなく、頭上を飛び回る米軍機を見上げながら、「ウルセエナア:」とつぶやいてしまうのですよ猪瀬さん。ミスホ・コーチャン